

令和7年度12月追加補正予算の概要について



1 予算編成の考え方・概要

物価の上昇による市民生活に対する影響の軽減のため、今般の国の補正予算に係る「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」及び「物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金」を活用し、これまで行ったきた食材費の支援継続等を図るほか、子育て世帯に対する給付金の支給事業を実施する。

- 子育て世帯に対する給付金の支給に係る経費を計上。
- 小中学校の給食の安定的な提供や保護者負担の抑制に係る経費を計上。
- 高齢者福祉施設や保育所等に対する食材費の支援に係る経費を計上。

2 補正額及び歳出予算の状況

(1) 今回補正額 964,143千円

(2) 歳出予算の状況

[一般会計]

単位：千円

区 分		予 算 額	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和7年度	現計予算額 (4号補正後)	126,749,687	24,443,070	9,754,706	8,765,300	5,663,690	78,122,921
	補正予算額	964,143	964,143	0	0	0	0
	補正後予算額	127,713,830	25,407,213	9,754,706	8,765,300	5,663,690	78,122,921

令和7年度12月追加補正予算の概要について



3 計上した事業（※（１）～（９）は全て物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業。計 121,614千円）

（１）障がい者福祉施設食材費支援事業 9,254千円 〔保健福祉部障がい福祉課〕

物価高騰の影響を受けている障がい者福祉施設の負担を軽減するため、障害者支援施設及び共同生活援助事業所を運営する法人に対して、食材費高騰分の支援を行い、利用者の処遇や健全な経営の維持を支援するための経費。

（２）高齢者福祉施設食材費支援事業（養護老人ホーム等） 6,924千円 〔保健福祉部長寿社会課〕

（３）高齢者福祉施設食材費支援事業（介護老人福祉施設等） 54,484千円 〔保健福祉部介護保険課〕

物価高騰の影響を受けている軽費老人ホームや養護老人ホーム、介護施設等の負担を軽減するため、施設を運営する法人に対し食材費高騰分の支援を行い、利用者の処遇や健全な経営の維持を支援するための経費。

（４）こども食堂支援事業 506千円 〔子ども未来部子ども青少年課〕

物価高騰の影響を受けているこども食堂の負担を軽減するため、こども食堂を運営する団体に対して、お米を支給し、健全な運営の維持を支援するための経費。

（５）地域児童クラブ等運営事業 2,334千円 〔子ども未来部子ども青少年課〕

物価高騰の影響を受けている放課後児童クラブの施設の負担を軽減するため、おやつ代を支援し、健全な運営の維持を支援するための経費。

（６）副食費助成事業（公立保育所分） 815千円 〔子ども未来部子育てあんしん課〕

（７）副食費助成事業（私立保育所等） 18,843千円 〔 “ ” 〕

物価高騰の影響を受けている公立保育所や私立保育所、認定こども園等の施設の負担を軽減するため、副食費を対象とした支援により、健全な経営の維持を支援するための経費。

（８）盛岡市学校給食食材費臨時補助事業（小学校分） 20,892千円 〔教育委員会学務教職員課〕

（９）盛岡市学校給食食材費臨時補助事業（中学校分） 7,562千円 〔 “ ” 〕

物価高騰により、学校給食における食材費上昇の影響を受けている学校給食運営委員会等を対象として、令和7年11月から令和8年3月までの食材費増額相当分を補助し、学校給食の安定的な提供と、保護者負担額の抑制を図るための経費。

令和7年度12月追加補正予算の概要について



(10) 物価高対応子育て応援手当支給事業 842,529千円 【子ども未来部子ども青少年課】

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する観点から、児童手当の支給対象である高校生年代（平成19年4月2日～令和8年3月31日生まれ）までの児童1人当たり2万円の支給に係る経費。

財源：物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金（補助率10/10）

4 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の予算措置状況（令和7年12月交付分）

		臨時交付金 交付限度額	予 算 計 上 額		残額
			令和 7 年度		
			12月補正 (5 号補正)		
推奨事業メニュー分		2, 777, 489	121, 614		2, 655, 875
	うち食料品特別加算分	956, 882	0		956, 882
合計		2, 777, 489	121, 614		2, 655, 875